

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
岩下 千恵子			
B (経営学科)	S (専門科目)	TR (観光)	301 (上級科目)

授業のねらい (概要)	観光資源を生かした観光振興を図るための計画策定や観光行政の推進について理解することを目的とする。観光政策に関する基礎的な知識の修得を目的として、観光政策の概念と意義や観光政策における政府や地方公共団体が担う役割について解説したうえで、地域の魅力を高めるための観光政策の在り方や最新の動向について学修する。また、観光関連法令の意義と役割や観光関連法律の体系と用語、観光関係法律について学修する。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 講義のねらい、講義の進め方、成績評価方法を説明する。観光政策と観光行政とは何か説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の教科書 (第11章) 観光政策と観光行政を読む。 (60分) 復習 (時間) : 観光政策という言葉の理解を図る。 (60分)</p> <p>第2回 日本の観光政策の歴史 日本における明治時代からの観光政策について説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の教科書、該当箇所 (第14章, p286-7) を読む。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容を振り返る。 (120分)</p> <p>第3回 観光庁及び関連省庁の観光関連政策 現在の観光庁及び観光に関連する省庁 (国土交通省、農林水産省、環境省、文部科学省など) の観光関連の政策について解説する。 予習 (時間) : 観光学基礎、第11章の関連箇所 (p221) を読む。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容を振り返る。 (120分)</p> <p>第4回 観光関連法規の基礎① 観光立国推進基本法の重要なポイントと観光資源の保護・保全と観光地開発に関する法律を説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の該当箇所 (第11章, p229-230) を読む。 (120分) 復習 (時間) : それぞれの法律の概要を復習する。 (120分)</p> <p>第5回 観光関連法規の基礎② 外国人旅行者の誘致と受け入れに関する法律、国民の旅行の促進に関する法律などを説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の該当箇所 (第11章, p229-230) を読む。 (120分) 復習 (時間) : それぞれの法律の概要を復習する。 (120分)</p> <p>第6回 観光統計の基礎 観光庁、都道府県、市町村の観光統計について説明する。 予習 (時間) : 観光統計の種類について調べる。 (120分) 復習 (時間) : 観光統計の入手先と活用方法について理解を図る。 (120分)</p> <p>第7回 行政施策としての観光地マネジメント 観光地全体をマネジメントしていく観光地経営の考え方について説明する。 予習 (時間) : 観光地経営やまちづくりの概念を理解しておく。 (120分) 復習 (時間) : 観光地マネジメントのポイントを理解する。 (120分)</p> <p>第8回 観光推進組織の現状と課題 観光客誘致を図る組織の運営主体である行政、観光協会、商工会議所、DMOなどの現状と共通の課題について説明する。 予習 (時間) : 観光推進組織にはどのような組織があるかまとめておく。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容を振り返る。 (120分)</p> <p>第9回 地方自治体の観光政策 地方自治体が観光政策を立てる目標ややり方について説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の該当箇所 (第11章, p222-226) を読む。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容を振り返る。 (120分)</p> <p>第10回 群馬県の観光政策 群馬県の観光政策と行政の概要を説明をする。 予習 (時間) : 群馬県の観光客数などを調べる。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容を振り返る。 (120分)</p> <p>第11回 市町村の観光政策 学生によるプレゼンテーションの準備① 市町村レベルにおける観光政策と行政について、具体例をあげて説明する。 予習 (時間) : 観光学基礎の該当箇所 (第11章, p222-226) を読む。 (120分) 復習 (時間) : 市町村レベルでの観光政策の特徴をつかみ、発表準備に活かす。 (120分)</p> <p>第12回 学生によるプレゼンテーションの準備② 高崎市や富岡市など群馬県内市町村の観光政策について、担当グループによる発表の準備を行う。 予習 (時間) : 担当する市の観光政策についてまとめる。 (120分) 復習 (時間) : 担当する市の観光政策プレゼンテーションの準備をする。 (120分)</p> <p>第13回 学生によるプレゼンテーション 高崎市や富岡市など群馬県内市町村の観光政策について、担当グループによる発表を行う。 予習 (時間) : 担当するプレゼンテーションの予行練習をする。 (120分) 復習 (時間) : 発表の良かった点と反省点などを振り返る。 (120分)</p> <p>第14回 地方自治体の今後の観光政策と展望 これからの地方自治体の観光政策に求められるもの、あるべき未来の姿について概観する。 予習 (時間) : 地方自治体の観光政策の基本を理解しておく。 (120分) 復習 (時間) : 授業内容の振り返りをする。 (120分)</p>

	<p>第15回 まとめ</p> <p> これまでの学んできた観光政策について、重要ポイントをまとめる。学生によるプレゼンテーションの講評を行う。</p> <p> 予習（時間）：これまでの授業内容から、観光政策の重要性とポイントをまとめる。（180分）</p> <p> 復習（時間）：全体を復習する。（180分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（商学部）に記載のある以下の項目を身につける科目となっている。</p> <p>・専門的分野での学びを、実務や社会で応用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】</p> <p>表現力・創造的思考力</p>
到達目標	<p>①国及び地方における観光政策と観光行政の役割、目標と基本的なあり方について説明できる。</p> <p>②観光政策と観光行政に関連する法律にはどのようなものがあるか説明できる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	グループプレゼンテーションは採点、講評する。個人レポート課題はコメントをつけて評価を伝える。
履修上の注意	観光学（科目）を履修済みもしくはそれと同等の知識を有することが望まれる。
成績評価の方法・基準	①グループプレゼンテーション 50% ②個人レポート課題 50%
教科書	プリントを配布
参考書・教材	【参考書】観光学基礎 観光に関する14章 第8版（観光学の指定教科書）羽田耕治監修、JTB総合研究所、発行年：2019年
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）